

# 緑っぱいに

なあれ



六月二十二日、大塚保育所で園児たちが桜の植樹を行いました。

これは環境月間の記念行事として、環境庁財団法人サンワみどり基金などが行っているもので、都市部やその近郊の緑の少ない地域



に「みどり」の環境を創り出すことを目的としています。

園児たちは渡されたソメイヨシノの苗木を、楽しそうに植えていました。他にもユキヤナギ、ソニンなどの植樹が行われました。

日本赤十字社高田県支部が行っている一日赤十字事業の一環として、六月二十五日、白木谷公民館で県立盲学校学生治療赤十字奉仕団（山本要二代表）によるマッサージ治療仕が行われました。

これは同奉仕団が県内各地で行っているもので、マッサージを受けたお年寄りは「気持ちいい。また来てもらいたい」と好評でした。

また、七月二日には、三和公民館で家庭看護方の講習が開かれ、参加した十二人は病人の効率よい起こし方、寝かせ方、着がえさせ方など、すぐに役立つ、看護される人が気持ちよく過ごせるやり方を学びました。



マッサージ治療奉仕

気持ちいい～



家庭看護方講習

## カメラリポート



## Ping Pong



六月二十日、市民体育館を会場に、市春季卓球選手権大会が開催されました。

これは南国市卓球連盟（矢野連代表）の主催で行っているもので、中学生から一般まで十二チーム、五十二人が参加、熱戦を繰り広げていました。

大会関係者によると、例年百人くらいの参加があったそうですが、ここ二三年は低調らしく、「皆さんぜひ一緒に卓球をやりましょう」とのことです。

## 正しく知ろう

今、大きな問題となっているエイズ。正しい知識を身に付けることが、まん延を防ぐためには大切です。七月二日に市保健福祉センターで行われた性教育の講演会では、性教育実践家の北次杏子さんを講師に向かえ、わかりやすい性教育についての話しがありました。

子供たちに正しく伝えるためには、まず、大人の意識改革が必要と、実際の現場での体験をもとにした講演に、参加した百七十人ほどは真剣に関心入っていました。

